

水産資源の持続性に配慮し、和食文化を未来へつなぐ

カツオ漁獲の海外まき網船「第十一わかば丸」初出港

株式会社 極洋（本社：東京都港区、代表取締役社長：井上誠）の子会社である極洋水産 株式会社（本社：静岡県焼津市、代表取締役社長 CEO：傍島康之）の海外まき網新船「第十一わかば丸」が、8月10日（水）に焼津港から初出港いたしました。



本船は、水産資源の持続性に配慮した、国際競争力を有する大型船で、小型魚がすり抜けられる目の大きな網や、ヘリコプターを活用した魚群探索などにより、持続的かつ安定的な原料調達を実現します。また、冷凍設備の冷媒として環境にやさしいアンモニアを使用し、船首形状の改良などにより燃油消費量の削減を図るなど、環境に配慮しています。さらに、船の大型化や設計の工夫などにより、船員の労働・居住環境の改善を図っています。

【建造の背景は以下をご覧ください】

<https://www.kyokuyo.co.jp/files/20220207.pdf>

当社グループは、これからも資源アクセスの強化を図るなど、事業を強化していくとともに、ESG、SDGsといった、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たしてまいります。



<新船の概要>

総トン数	760トン
全長	79.61m
幅	14.00m
乗組員	30人
積みトン	約1,200トン